

札幌市立平和小学校の取組【読書：図書館活用授業】

1. 研究のねらい

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校を通じた社会全体で取り組むことが重要である。家庭、地域、学校がそれぞれの役割を果たし、社会全体で子どもの自主的な読書活動の推進を図るような取組を推進することが必要である。子どもの発達の段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書の幅を広げ、読書体験を深めるような機会を提供するとともに、そのための環境作りに努めることが必要である。しかし、子どもたちの様々なニーズに応える書籍を学校図書館に網羅的に蔵書することは不可能である。そこで、本研究は、既存の学校図書館に加え、寄託図書、ブックさあくる、札幌市図書館蔵書検索システム等を相乗的に機能させることにより、子どもたちのニーズに合った本を身近に整える手立てについて検証した。

2. 取組内容

(1) 学校における子どもの読書活動の推進

① 言語活動の充実

3 学年の国語科「心にのこったことを、自分の言葉で表そう」の学習において、子どもたちに学校図書館の蔵書の中からお気に入りの一冊を選ばせ、心に残ったことを本の帯に表す活動を設定した。心に残った登場人物の行動や会話をキャッチコピー的な短い言葉表現することを促し、子どもたちの相手意識や目的意識を明確することに留意した。

子どもたちは、教科書題材として取り上げられている斎藤隆介氏の『モチモチの木』とともに寄託図書を利用した『ベロ出しチョンマ』を並行読書することにより、本の帯づくりへのイメージを膨らませた。

② 図書環境の充実

学校図書館を活用した学習活動日々の読書指導の充実を図っていくためには、司書教諭のみならず全ての教職員が連携し、学校全体で子どもたちの学習活動・読書活動を推進していく体制を整備することが重要である。

子どもたちのお気に入りの一冊の選定に当たっては、司書教諭や解放図書館司書の協力を得て、レファレンスサービスの充実に努めた。また、図書館に蔵書されていない本の需要に対しては、札幌市図書館蔵書検索システムを活用して、地域の図書館からの貸し出しを受けた。読書活動の充実には、児童生徒が相互に図書を紹介し、様々な分野の図書に触れる機会を増やすことが重要である。



子どもたちが思い思いに作成した個性的なお気に入りの一冊を紹介する帯は、ホールに掲示した。

(2) 家庭・地域との連携による読書活動の推進

① ボランティア活動の促進

本校では、読書週間に合わせて全校読み聞かせの会を開催している。教師1名と保護者ボランティアの1名がペアとなり、13会場で本の読み聞かせをする。子どもたちは、自分の興味や関心に応じて1会場を選び、読み聞かせを通して読書の世界に浸る。

保護者からボランティアを募るには、子どもたちの自主的な読書活動を推進する社会的機運の醸成を図るため、読書活動の意義や重要性について広く普及啓発を図ることもねらいとしている。例年の選書は、教師と保護者ボランティアに委ね、事前に読み聞かせる本を周知し、子どもたちが思い思いの場所に集い、読書の世界に浸るイベントである。

今年度は、子どもたちが国語科で帯づくりに活用した本から26タイトルを選定した。

② 教育活動に対する保護者の理解を求める

子どもたちの自主的な読書活動の推進には、最も身近な存在である保護者が、子どもとともに読書の楽しさを分かち合い、読書に親しむことが有効である。全校読み聞かせの会には、読み聞かせボランティアの他に多くの保護者が参観に来校した。



教師やボランティアの読み聞かせの前に行なった本の紹介では、子どもたちが作成した帯を積極的に活用した。自分のキャッチコピーが読み上げられた際に見せる子どもの笑顔には、学習に対する成就感が表れていた。今回、紹介できなかったタイトルについても、図書館前に特設コーナーを設け、展示した。

3. 成果と課題

(1) 学校図書館の機能強化

学校図書館の情報化が推進され、学校間や地域の図書館等との連携を通じて、図書資料の共同利用や相互利用の促進・普及が進んでいる現状において、寄託図書、ブックさあくる、札幌市図書館蔵書検索システム等を相乗的に活用することにより、学校図書館の機能強化を実現することができる。また、学校、保護者、地域の人的な資源を有効に活用することにより、学校図書館の読書センターとしての機能と、学習・情報センターとしての機能を向上させることが期待できる。



(2) 連絡・調整業務の煩雑さ

図書館を活用した授業の充実を図るためには、学校司書を配置し、司書教諭と連携しながら多様な読書活動を機画・実施したり、学校図書館サービスの改善・充実を図ったりしていく人的な配置が必要である。各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動において多様な教育活動を展開していくためには、学校間や地域の図書館等との連絡・調整の業務は今後一層重要になると考える。